

## 綱紀保持関連資料の活用方法について

### 1 活用に当たってのポイント

- 綱紀保持校内研修を計画的に実施することは、不祥事防止に効果的です。
- グループ討議、ロールプレイなど実施方法を工夫することも効果的です。
- 学校運営協議会での協議や地域住民等を講師とした研修を実施するなど、幅広い視野で考えることも重要です。

### 2 活用例

- 教職員の意識を高めるため、短時間でも繰り返し研修することが重要です。

#### 【例1（5分程度）】テーマ「セクシュアル・ハラスメントの防止」

時間	活動
説明 (3分)	・資料「セクシュアル・ハラスメントを防止するために」を配付 ・p. 2-3をもとに、定義やハラスメントになりうる言動を説明
セルフチェック (2分)	・各自でp. 8のセルフチェックシートをもとにセルフチェック

#### 【例2（10分程度）】テーマ「飲酒運転の根絶」

時間	活動
説明 (5分)	・資料「具体的な事例から学ぶ No. 13」及び添付資料を配付 ・実際に発生した事例、酔いがさめるまでにかかる時間等を説明
意見交換 (3分)	・2～3名で飲酒運転の予防策について意見交換
振り返り (2分)	・各自、感じたこと、今後気を付けるべきことを書き出す

#### 【例3（20分程度）】テーマ「体罰の根絶」

時間	活動
説明 (5分)	・資料「体罰の根絶に向けて」を配付 ・p. 1-2をもとに、体罰、懲戒、正当な行為の違いを説明
ロールプレイ (5分)	・p. 11の「研修資料 ケース②」をもとに、4名程度で役割分担してロールプレイを行う
振り返り (10分)	・自分ならどのように対応するか、どのような指導が望ましいか等についてグループ討議を行う